

GINGA REPORT 401

No. 98
2023.7

そらんぼ四日市 検索

発行日：令和5年7月1日
編集&発行：四日市市立博物館・プラネタリウム
電話：059-355-2700

7月の星空

星図：ステラナビゲータ11/(株)アストロアーツ

星探しのポイント

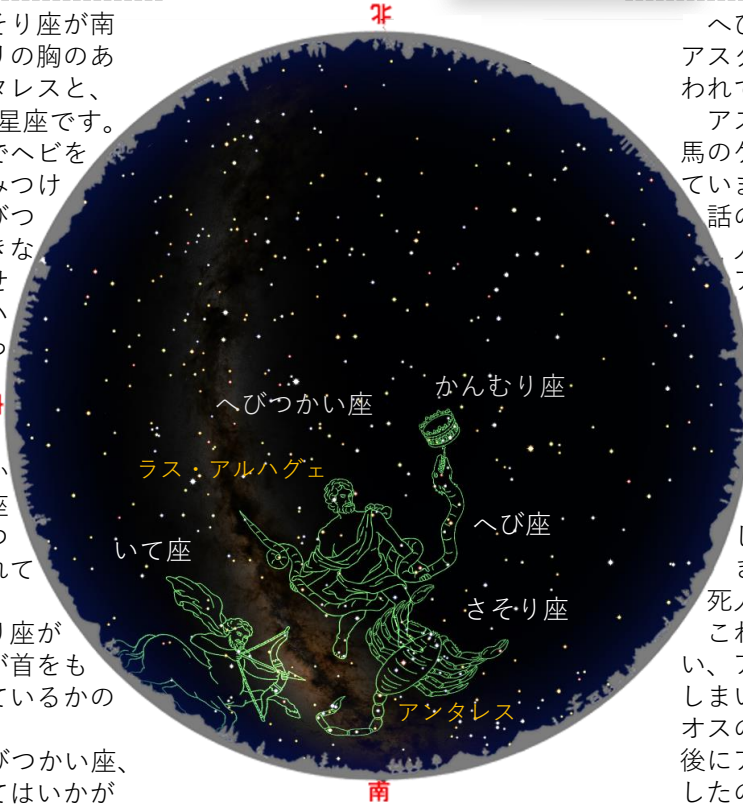
7月の半ばごろから、さそり座が南の空に昇ってきます。サソリの胸のあたりで赤く明るく輝くアンタレスと、Sの字のような星列が目立つ星座です。

さそり座の上には、まるでへびをつかんだ巨人がサソリを踏みつけているかのような星座、へびつかい座が見つかります。大きな割に明るい星は多くありませんが、頭で輝くラス・アルハグエは街中でもなんとか見られる明るさです。ラスは頭、ハグエはへびをつかむ者と、この意味があります。

そんなへびつかい座がつかんでいるへびは、実はへび座という別の星座です。へびつかい座を挟んで二つに分かれている珍しい星座です。

へびの頭の上にはかんむり座が輝いています。まるでへびが首をもちあげて、かんむりを狙っているかのようです。

明るいアンタレスからへびつかい座、かんむり座と順に探してみたいかがでしょうか？



7月15日21時の星図

死人をも生き返らせる名医

へびつかい座は、ギリシャ神話ではアスクレピオスという医者 of 姿だと言われています。

アスクレピオスは、いて座の半人半馬のケイローンに医学を教えてもらっていました。ケイローンはギリシャ神話の英雄たちに教育をほどこした賢人で、そんなケイローンに学んだアスクレピオスの腕前は、ギリシャ第一の名医とあおがれるほどでした。

ある日のこと、アスクレピオスは死者を生き返らせてほしいと頼まれます。熱心に治療を続けると、なんと死人が本当に生き返ってしまいました。そうして次々と運ばれてくる死人を生き返らせていき、ついに冥界には死人が来なくなります。

これにはさすがの神々も困ってしまい、アスクレピオスを雷で打ち殺してしまいました。しかし名医アスクレピオスの腕前を惜しむ声は高まるばかり。後にアスクレピオスをたたえて星座にしたのだそうです。まさに悲運の名医と言えますね。

今月の天文トピック

明るく輝く金星

日の入り後、「宵の明星」として輝いてきた金星が7月7日に最大光度を迎えます。このころ、金星はマイナス4.7等という明るさで輝き、澄んだ空では昼間の青空の中に肉眼でも見つけることができるほどです（直接太陽を見ないように注意！）。

望遠鏡で観察すると、三日月を思わせる細く欠けた姿をしています。七夕の日、東の空の織姫や彦星とともに、西の空に金星も探してみてください。

ガリレオ教室

霧箱で見る放射線の飛跡

宇宙空間にある様々な天体から放射される宇宙放射線について学ぶために、「霧箱」と呼ばれる実験装置を用いて、放射線の通り道を観察してみましょう。

時 | 2023年7月9日(日)
11:00~11:20
14:00~14:20
所 | コズミックラウンジ



天文学芸員と星空散歩2

おすすめの星座や天体を天文学芸員がみっちり解説する、フル生解説のイベントです。天気が良ければ、これらの星座や天体を屋上で観望します。

時 | 7月29日(土) 18:20~20:00
(19:15からは屋上観望会)

料 | 一般550円、高・大生390円
小・中生210円、幼児無料

定 | 40人

座席券は当日券のみです。開館時刻の9:30から18:20まで販売します。完売した時点で終了します。

博物館主催 スターウォッチング

博物館主催きらら号観望会

日時：7月22日(土) 20:00~21:30
場所：博物館前市民公園
内容：色のついた星を見よう



※当日受付・参加無料です。
※天候不良時は中止です。(通常3時間前に決定します)

編集後記

7月になると、梅雨も明け一気に夏の到来となりますね。ただ残念ながら、最も晴れを願う七夕のころは、まだまだ天気が不安定でもあります。

今年の7月7日は、アンタレスや織姫、彦星に加え、金星も非常に明るく輝く特別な七夕です。明るくにぎやかなこの空をしっかりと目に焼き付けておくためにも、まずはお天気が良くなるよう祈ることにします。

7月の月

3日 満月

10日 下弦

18日 新月

26日 上弦